

あけましておめでとうございます。

今月号の表紙

本年も広報いとまんをよろしく願いします。さて、今月号の表紙ですが、子ども達の素敵な笑顔の写真を表紙・裏表紙までいっぱいに並べました。

この企画は2016年1月号から続いており、今回も多く市民の皆さまから応募をいただき、企画を実現することができました。応募をいただいた皆さまありがとうございます。

また、笑顔の写真は、応募いただいた人だけではなく、多くの人から1月号の笑顔の写真を楽しみにしているという声があがるほど、好評を博しています。今回の応募総数は350枚を超え、表紙・裏表紙のスペースに若干の不安もありましたが、なんとか、1枚あたりの写真のサイズも少しだけ大きくして、応募のあった全ての写真を掲載することができました。来年も企画を継続していく予定なので、今回応募できなかった皆さまも、次回の応募をご検討ください。

※広報11月号および市のオフィシャルLINEアカウントなどで募集の案内をしています。

沖縄県糸満市 Itoman City

■人口			■火災・救急		
	11月	前月比		11月	前年比
人口	62,355	15	火災	1件 (21件)	-2 (-3件)
男	31,592	34	救急	242件 (2673件)	9 (-217件)
女	30,763	-19			
世帯数	27,327	50			

※()内は令和2年の累計

■面積 46.63Km² (2019年7月1日現在)
 ■市の花木 ブーゲンビレア ■市の木 ガジュマル
 ■市の花 日日草 ■市の魚 タマン

(人口、世帯数、火災・救急件数は2020年11月末現在)

「声の広報」届けます

目の不自由な人に糸満市の情報を届けるため、広報いとまんをCDに吹き込み配布しています。「声の広報」を希望する人は、秘書広報課(☎840-8118)まで問い合わせてください。

ラジオ広報・市役所便り (FMたまん)

■月～金
 ①7時45分～7時50分
 ②12時55分～13時
 ③17時55分～18時
 ■土～日
 ④12時55分～13時



糸満高校女子バスケットボール部

3人制バスケで全国準優勝!!



女子バスケットボール部のポーズと素敵な笑顔をいただきました!

(左) 寺尾杏さん、伊良部由侑さん、豊里みづきさん

2020年11月28日、29日に東京の代々木第二体育館で行われた、第7回3×3 U18日本選手権大会に、糸満高校3年生の伊良部由侑さん、寺尾杏さん、豊里みづきさんが出場。決勝では、埼玉県代表のチームに延長の末、惜敗したものの、見事全国大会で準優勝を果たしました。

バスケットボールウィンターカップ県予選の準決勝で敗退したものの、監督から勧められて3人制バスケの大会出場を決意した3人ですが、当初は派遣のある大会とは知らなかったようです。西日本大会を2位通過、全国大会では準優勝と、本人たちも予想していなかった結果になったと驚いた様子でした。

▼全国準優勝をした3人のそれぞれの声

豊里さん 全国で準優勝といういい思い出ができました。

寺尾さん 3人制バスケということで、ジャンルは違うのですが監督を全国に連れていくことができたのが嬉しかったです。

伊良部さん お世話になった人たちに、準優勝という結果で恩返しできて嬉しいです。

令和3年

新春のご挨拶

市民一人ひとりが活躍できる 新しいまちづくり

市

民の皆さま、明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の市長選挙におきまして、市民の皆さまの温かいご支援を賜りましたことに対し、改めてお礼申し上げます。また、市政運営に対するご提言やご助言など多くのお力添えを賜り、重ねて感謝を申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、市民のくらしや地域経済が大きな痛手を受けたことから、支援の充実や感染予防対策の徹底など市民から多くのご意見が寄せられました。そのため、保育や学校、自治会などの感染症対策や季節性インフルエンザ予防接種、プレミアム商品券の発行など9億

7千万円強の事業を実施したところであります。

しかし、いまだ収束の兆しが見えないことから、引き続き感染症関連対策を実施し、市民のくらしと地域経済を守る取り組みを進めてまいります。

併せて、市の活力づくりに直結するハード面の整備も継続します。

(仮称)糸満市文化・平和・観光振興センター建設を着実に進めつつ、高嶺小学校校舎移転改築計画や西崎小学校体育館の大規模改修などのほか、市道や農道、橋梁、市営住宅、上下水道、農村集落排水、糸満漁港北地区の高度衛生管理型荷捌き施設の整備促進ならびに真栄里地域の物流団地等造成事業などに取り組み、住みよい、そして活力溢れるまちづくり関連事業を力強く推進します。

まちづくりにはソフト面の対応も大切です。

糸満市の未来づくりに直結する学校でのICTを活用した授業は、学習意欲などが高まるなど児童生徒自身が肯定的に評価しており、教育の質の向上が強く期待できることから、新学年移行の早い時期にタブレット型端末を活用した授業が全学年で実施できるよう、作業を進めています。

また、子どもを暴力から守る新たな取り組みのほか、貧困対策や子育ての不安感や負担感軽減、高齢者が住み慣れた地域で生きがいをもって暮らせるための施策に継続して取り組みます。

なお、前回定めた糸満市の将来像「つながりの豊かなまち」の関連計画がこの3月で終了することから、次の10年間の市政運営の方向性を示す「新総合計画」を作成中です。次期計画では、世界レベルで目指す持続可能な開発目標(SDGs)の達成と併せ、市民一人ひとりがそれぞれのステージで活躍できる新しいまちづくり計画を定め、新年度から着実に実施して参ります。

糸満市長

當銘 真栄



本年、糸満市は、合併60周年、市制施行50周年の節目を迎えます。

「ひかりとみどりといのりのまち」の基本理念のもと、長きにわたりまちづくりに貢献されたすべての市民に改めて衷心よりお礼を申し上げます。そして、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。結びに、新しく迎える年が、世界と日本にとって平和の年でありますように、また、市民にとって明るい幸せな一年でありますように祈念申し上げます。挨拶と致します。